

■北海学園大が接戦制す。全日本大学選手権で北海道勢初勝利

全日本大学アメリカンフットボール選手権1回戦が8日、金沢市球技場などで行われ、北海道代表の北海学園大は北陸代表の福井県立大を54-49で下し、2回戦に進出した。2009年から始まった同選手権で北海道勢の勝利は初めて。2回戦は11月16日、角田陸上球技場（宮城県角田市）で東北代表の東北大と対戦する。

初の北陸地区との対戦は、激しい点の取り合いとなった。先制したのは北海学園大。第1Q開始34秒、相手のキックオフリターンミスで得た敵陣23ヤードからの好機に、最後はQB成田滉佑（4年）の4ヤードキープで7-0とした。第2Qに7-13と逆転を許すが、同9分にRB北脇瑠依（1年）の2ヤードランで14-13と再逆転。11分にはQB成田の3ヤードランで20-13とリードを広げて折り返した。



後半は両チームのTDラッシュとなった。第3Q2分にQB成田からWR福原柊太（1年）へ38ヤードパスで27-13とリードを広げるが、福井県立大に2TDを返されて27-27の同点に。8分に、RBに入ったLB樫田裕丈（4年）が3ヤードを飛び込んで34-27とした。34-33で迎えた第4Q1分には、QB松平悠杜（2年）からWR神林駿太（2年）への18ヤード



ドパスで41-33と突き放したが、直後にTDを許して41-41と追いつかれた。同5分にQB成田からWR福原へのこの日2本目となる14ヤードパスが決まって48-41とリードした。

終盤までもつれた試合は同8分、福井県立大のエースRBに独走TDを許して48-49とされた。決勝点となったのは続く自陣38ヤードからのドライブで、RB北脇のランなどで前進し、QB成田からWR神林への36ヤードパスで敵陣1ヤードへ。最後は残り時間58秒でRB北脇が飛び込んで54-49と逆転した。



北海海学園大の高木幸樹HCは「人数が多かった分、最後まで走れて逃げ切れた。1、2年生が頑張ってくれた」と選手たちをたたえた。「LBの守備が課題なので、次の東北大戦に向けて修正したい」と2回戦を見据えた。

主将のQB成田は「北海道勢の初勝利までは長かったが、こんないい試合ができて楽しかった。1年生が最後まで走り切り、ラインが頑張ってくれた」とチームメートに感謝した。2TDのRB北脇は「(決勝点の)1ヤードブラストは自分の体が壊れてもいいと思って突っ込んだ」と興奮気味。1TDと決勝点を呼び込む好捕のWR神林は「スクランブルからのパスだったが、絶対に捕らないといけないと思った」と振り返った。粘り強い守備で攻撃につないだLB樫田は「オフェンスに助けてもらった。東北大戦に向けて1週間、徹底的に準備したい」と気を引き締めていた。

(広報委員 塚田博)